

## 東北地域における水稻耐冷性“極強”以上の新基準品種の選定

### 研究のねらい

東北地域では、2003年の冷害の際に、穂ばらみ期におけるUPOV (植物新品種保護国際同盟) の耐冷性基準が最高評価である“極強”の品種でも不稔が多発した地域があった。一方で、東北地域の各育成地で、“極強”より強い耐冷性を持つと思われる系統が開発されているが、基準品種がないため耐冷性強度の評価ができていない。そのため今後、現基準の“極強”より強い耐冷性品種を育成するために、極強以上の耐冷性基準品種を選定する必要がある。

### 成果の内容

- ①東北6県の各試験地と東北農研の計7試験地において、2004年から2008年の5年間、恒温深水法で耐冷性を熟期別に評価し、その結果により基準品種を選定した(図1)。
- ②“極強”より強い基準の呼称は、“極強”がUPOVの評価で“8”であるため、“極強”より1ランク強くなる毎に“極強9”、“極強10”、“極強11”とする(表1)。
- ③新基準品種では、現基準の“極強”までの評価に加えて、極早生(ユメコガネ級)では“極強9”まで、早生、早生晩及び中生では“極強11”までの耐冷性の評価が可能である(表1)。



図1 恒温深水法

表1 “強”以上の東北地域耐冷性新基準品種一覧

熟期	評価 (UPOVランク)	既存のランク		新しいランク		
		強 (7)	極強 (8)	極強9 (-)	極強10 (-)	極強11 (-)
極早生:	ユメコガネ級	—	ユメコガネ <sup>2)</sup>	ふ系PL1	—	—
	かけはし級	かけはし	はまゆたか <sup>2)</sup>	—	—	—
早生:	むつほまれ級	コイヒメ 駒の舞	ふ系PL2 <sup>1)</sup> いわてっこ	ふ系PL3 秋田60号	ふ系PL4	ふ系PL5
早生晩:	あきたこまち級	こころまち イブキワセ <sup>1)</sup>	東北182号 はたじるし	東北155号	奥羽PL4	東北PL1
中生:	ひとめぼれ級	オオトリ <sup>1)</sup> おきにいり	ひとめぼれ はえぬき	秋田PL1 東北187号	奥羽PL5	東北PL2 東北PL3
晩生:	コシヒカリ級	もちむすめ ハウレイ <sup>1)</sup>	コシヒカリ <sup>1)</sup>	—	—	—

1) 1986年度稲育種連絡会議の申し合わせによる基準品種。

2) 1999年研究成果情報(青森藤坂)での基準品種。

中間母本系統(PL系統)の旧系統名は、ふ系PL1:中母63、ふ系PL2:中母35、  
ふ系PL3:中母64、ふ系PL4:中母59、ふ系PL5:中母65、東北PL1:古川耐冷中母81、東北PL2:古川耐冷中母78、  
東北PL3:古川耐冷中母102、秋田PL1:秋系518、奥羽PL4:羽系840、奥羽PL5:羽系841。



### 成果の利活用

- ①東北地域の各育成地において“極強”より強い耐冷性の評価に使用でき、“極強”より強い品種・系統が育成される。



独立行政法人 農業・食品産業技術総合研究機構  
東北農業研究センター  
<http://tohoku.naro.affrc.go.jp/>

〒020-0198 岩手県盛岡市下厨川字赤平4  
電話 019-643-3414 (企画管理部情報広報課)  
FAX 019-643-3588